

読む人の  
幸せを  
心に願って  
作る

no.536

# 喜びの タネまき 新聞



写真・市谷 健「光がいっぱいの日曜日」

## 現状維持は退歩

全国で多くのダスキンの加盟店が日々お客様を訪問し商品やサービスを届けています。加盟店の経営者には会社勤めから独立した人や、代々続いた会社を受け継いだけれども、事業転換して加盟した人など、様々な人がいます。多くの方が仕事を始めた頃を思い出して、ハングリーだった、必死だった、懸命だった、と回顧されます。

百年も続いた商売に見切りをつけて加盟した社長さんは、当時を振り返り、「現状のままでもある程度はやっていけたが、将来を見据えて」「思いきってダスキんに飛び込んだそうです。長い間、地元で多くの経験と人脈を培ってきた船から、新しい船に乗り換えるには、たいへんな勇気と決断がいったことでしょう。世の中の流れの先を読み、自分だけではなく社員やその家族のことを考え、後がないという切羽詰まった状況で踏み切られたのだと思います。

実は、「いま」という時はなく、私たちは常に「過去と未来」との狭間で生きています。同じように「現状維持」はありえず、私たちは常に流れる変化の中で活動しているのです。そう思うと、一度きりの人生、現状に満足せず「常にチャレンジ！」あるのみ。自分自身に「もっと頑張れ！」と檄を飛ばし、前向きに歩み続けなければと思います。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

山の中や田舎のバスは、車や電車があるので昔より少なくなりましたが、あの楽しくもせいせいとさせる眺め。バスの揺れとともに心躍る気持ちを出します。

### 「あの日のバスが今日もまた」

絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和み温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に帰るはのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

子どもの頃、よく車酔いをした。バス遠足でも2度ほどつらい思いをした。それが中学生になって友達とハイキングに行くようになる

山のバスは険しい山間を縫い、坂道をうなりながら登った。車内は大きなキスリングと呼ばれた帆布製の横長のリュックを背負った登山者でぎゅう詰め。途中の山村は活気に満ちていた。

今年の夏、久しぶりに北アルプスを歩いた。あいにく雨。高山植物に励まされながらゴールの温泉宿に着き、熱い湯に飛び込む。夏と言っても山は初夏。濡れて冷たい体がじんわり温かくなった頃、宿の玄関先から声が聞こえた。



初夏に上州で単独登山をした日のこと。県境の峠まで運行している山のバスは、昔話みたいなのにどかな山村を抜ける

「バスにお乗りの方はいますか」発車の時間を伝えにきたのだ。バスがあるのはもちろん知っていたが、いまでも車掌さんがいることに驚いた。その出で立ちも、きちんと帽子をかぶり、大きなま口のカバンをかけた、まぎれもない車掌さんスタイル。忘れていた「山のバス」がお迎えにきたのだ。

初夏に上州で単独登山をした日のこと。県境の峠まで運行している山のバスは、昔話みたいなのにどかな山村を抜ける

バス停は、満車に近い駐車場の端にあった。乗客は5人。どの顔も無事に下山した安堵感にあふれている。「発車しまーす」車掌さんの声が山間にこだました。麓に向かうと、雨上がりに虹のアーチが浮かんで見えた。



### 揚げずにおいしい「スティック大学イモ」

昔ながらの大学イモを少なめの油で炒めて揚げずに取ります。サツマイモの素朴な美味しさを引き立たせるのは、はちみつと黒みつ。おやつその他にも副菜やお弁当のおかずにもなる万能メニューです。



お料理研究家 こいけりえ

### おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



◎作り方(3皿分)  
サツマイモ500gは皮ごとよく洗い、1cm幅に斜めの輪切りにカットする。さらに5mm幅くらいのスティック状になるよう、切りそろえる。  
切ったサツマイモはたっぷりの水に浸してアクを抜く。10分くらいつけて、水を2〜3回取り替えるのがポイント。  
アクを抜いたサツマイモは、ざるにあけて水気を切り、キッチンペーパーの上を広げて再びしっかりと水気を取る。その時、上からもキッチンペーパーをかぶせてしっかりと押さえ水気を取ること。  
サラダ油大さじ5を入れて温めたフライパンに、スティック状のサツマイモを入れて油を全体にかかめるように炒める。サツマイモの色が変わるまで、7〜8分中火で炒め、最後は強火で1〜2分炒める。



中火で7〜8分 + 強火で1〜2分  
こがさないように炒めましょう

●黒みつを作る  
黒砂糖30gに水大さじ2を加え、ラップをして電子レンジで1分30秒温めて出来上がり。



ごま油がり♪



シュークリームみたいに  
甘い笑顔  
秋田県横手市 佐藤博美



頑張るパパは  
力持ち!  
東京都江戸川区  
伊藤泉美



「だっこも  
できるだもん♪」  
熊本県大津町  
木下健一

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております!  
(詳細は7ページ)

このツヤ、この迫力。「黒檀は硬いけんね。たいへん」



ゲンゴロウ。動きそうなんです。



教室で使うためのキットはサンドペーパーつきで、70個とか一人でするそうです。



作品の蒐集家もいる。ガラスケースにいれてあった鮎を見せてもらったが、太り具合、力感と、すごい！森下さんの作品はただ克明に模したというものではない。鮎のぬめりと、体を覆う微小なウロコ。一匹4千回突いて、ウロコを彫り上げる。それを手で触って、凹凸を感じないほどに、更に磨き上げる。ああ、森下さんの作品には、生き物への愛情があふれているんだな…。そういう感動がじんと伝わってきた。

作品の蒐集家もいる。ガラスケースにいれてあった鮎を見せてもらったが、太り具合、力感と、すごい！森下さんの作品はただ克明に模したというものではない。鮎のぬめりと、体を覆う微小なウロコ。一匹4千回突いて、ウロコを彫り上げる。それを手で触って、凹凸を感じないほどに、更に磨き上げる。ああ、森下さんの作品には、生き物への愛情があふれているんだな…。そういう感動がじんと伝わってきた。

# 命を ふまじむ



# 自然の

何気なく応募した  
「全国現代クラフト展」で  
実物大の木彫りの蝶が  
いきなり最高位に輝き  
本人もびっくり。子どものための  
木工教室もひらく彫師  
森下正章さん(61歳)を徳島市に  
お訪ねしました。

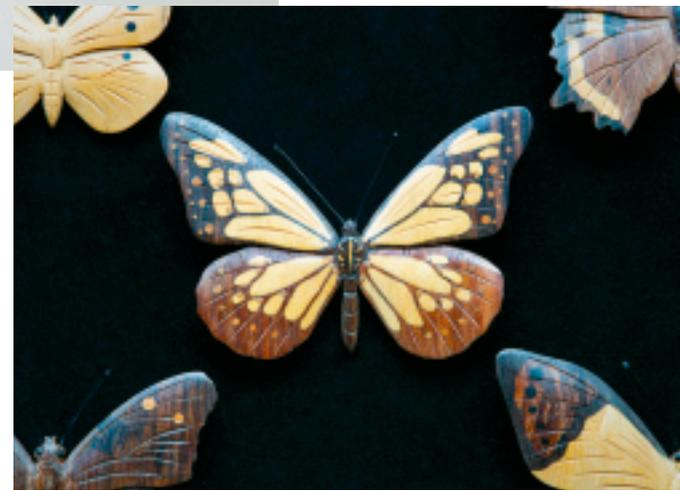


「黒檀は堅いけんね」押さえる左手の先が力をこめるので指が曲がっている。

「こんまいときから、昆虫採集ばかりしてきたんや。」

# 木の色を いかしむ

「ぞうがん、しとるんよ」もおー、飛びます！



「仕事となると、色んな人が色んな注文して頼んでくるけん。むずかしいなあ、思てな」森下さんは、インテリアっぽいものから仏像まで彫る。とにかく彫る。一生懸命に作る。模様を彫ったところにはめこむ象眼そうがんもして、本業はずっと仏壇の彫師。

しかし近年、仏壇は安価な外国産におかれて、彫師さんは社員ではなく外注になった。それで、ふと思いついて木工や工芸品などを公募して毎年開かれる『全国現代クラフト展』の工芸の部に作品を送ってみた。2006年のことだ。結果は最高位の文部科学大臣賞。阿波の名工という評判もたつたが、「そんなこと言われると、こそばゆい」と本人は慎ましい。けれど、手彫りの限界を超えたクワガタや鮎は命をもち、動き出さんばかり。これは本

物？森下さんの昆虫は、置いてあると作品と分らない。蝶の羽の薄さもリアルだ。

4歳頃に高熱を出した影響で、森下さんは右足に障がある。座る仕事の方がいいだろうと、17歳で仏壇の職人になった。生まれば、剣山の山麓に広がる那賀町。山川が遊び場で、虫や魚に親しんだ。山には今も90歳になる母が住むという。

「昆虫採集はこまいときから、そればかりしてきたんや。育ったところは山。毎日歩きよった。竹とんぼとか、突き鉄砲なんか作って。今の子は、虫はよう触らんな」森下さんは、毎年、親子合わせて70人くらいの木工教室を開く。キットには桐を使用。桐は柔らかく、ペーパーだけで丸くできるからだ。セミ、クワガタ、テントウムシ、チョウ、ハチ。「ハチは人気だな」みんなマーカーで思い思いに色を塗るそうだ。

自分の作品の昆虫は標本を前において彫る。図鑑も調べるが、上からの写真なので、クワガタ、ゲンゴロウ、タガメも本物を捕ってくる。彫り出した後に、サンドペーパーを粗いものから細かいものへ4回は磨く。最後にバフで磨いて艶をだす。「凝り性というか。適当なところでやめられない。ははは」と森下さんは笑う。材料は黒檀、紫檀、白檀、ヒノキ、ツゲとさまざま。木の白い所、赤い所を生かして作るのが楽しみだ。



### おじよんじよん

神戸市 西田寿恵

「おじよんじよん」。このヘンテコなネーミングは、息子が2歳の時、近所に住む夫の友人に付けたものだ。いつの間にか、ほかの子にも浸透し、不動のニックネームになった。子ども好きの彼は、息子が物心ついた頃から、遊びに野球、近くの温泉などにも連れて行ってくれた。危険なことや、やんちゃをすると本気で叱ってくれ、その後のフォロワーも忘れない。

自分が子どもの頃にも、近所に親しみやすいおじさんが、1人や2人はいた。親でも友達でもなくある時は助言者…。彼は、息子にとって特別な存在のようで、中学3年生になった今も、頭が上がらないらしい。今日も大きな声で挨拶をする「おじよんじよん」に、息子は照れくさそうに右手を上げて、相づちを返している。

——やんちゃかななな。



### お花とバイク

秋田市 板谷秀之

花の展示場に母と一緒にいった。色とりどりの花の中を、母の車イスを押して歩く。母は得意げに、いろいろな花の名前を覚えてくれた。

一巡して、そろそろ帰ろうかと、駐車場に向かうと、大型バイクの集団が、車の駐車スペースのまわりに陣取っていた。革のライダーズーツにサングラスで、近寄りたいたい雰囲気なので、出発するまで、遠巻きにして待つことにした。バイクが動き出すと、突然、母は彼らにむかって手を振り始めた。先頭のライダーが、こちらをチラッと見て、サングラスがキラリと光った。そして、母に向かって敬礼した。すると、残る二十数台の一人一人が、母にむかって敬礼をしていった。あつげにとられる私。母はすました顔で手を振っている。バイクは6月の青空の下、排気音を轟かせて走っていった。気がつく、私もつられて手を振っていた。

——なんて爽やかなの！



### お皿の品格

宮城県白石市 川村ふみ子

市内の食堂でパート勤めを始めましたが、お客さんのマナーにびっくりすることも。私の世代は食べ残すと怒られたものですし、はしの置き方まで言われたものでしたが、はてさて…。

でも、ある日、お客さんが出て行った後のテーブルを片付けに行くと、思わず立ち止まってしまいました。ご飯茶碗には、ご飯粒一つ残っておらず、小鉢のおかずもきれいに片付いています。極め付けは煮魚の乗っていた角皿です。一匹分の魚の骨が一片の身も残さず、まるで標本のように横たわっていました。この席に座っていたのは、確かスーツ姿のまだ若い男の人。見事に美しい食べ終わりに、しばし見とれてしまいました。

——ステキなマナーでした。



### 宇宙人

沖縄県浦添市 翁長悦子

「いいから、いいから！」と財布を出そうとする私の前を遮る手は娘の手。外食に出れば当然のように支払は親の役目だったので、「ホントにいいの？」と聞き返す。「今日はお母さんの誕生日だし」その言葉にびっくりするやら嬉しいやらで、成長した我が子が頼もしく思えた瞬間でもあった。

幼い頃は、目を離すとすぐに姿を消し、必死で探す親を尻目に不可思議な行動をとる子供だった。探し当てた娘を見れば一人遊びに興じ、こちらを見てニッコリ笑うのである。もしかして、この子は宇宙から送り込まれた地球外生命体の仮の姿かも、と若かった私は真剣に疑ったこともあった。

その子がおどるというのであるから感慨深い。今は、学校の先生になりたいという夢に向かって、孤軍奮闘の日々。親が出来ることもここまで。でも私達はどんな時でもあなたの味方です。

——冒険好きは探求心が強いんでしょうね。



### おかげで

長野県南箕輪村 宮澤めぐみ

スーパーで買い物を終え、駐車場へむかいました。車のキーをバッグのどこに入れたのか忘れてしまい、あたふた。探そうにも、パンパンの買い物袋で両手がふさがり、困っていると、「持っていてやろうか？」一人の男性が声をかけてきました。一瞬、見ず知らずのおじさんに…、とためらいました。でも、この際ですもの。「お願いします！」と買い物袋を持ってもらいました。サツとキーを取り出し、ドアを開けて袋を受け取りました。「ありがとございます。お陰で助かりました！」

男性は新デザインシルバーマークの軽自動車です。颯爽と去っていきました。見ず知らずの方に親切にされた事が新鮮でうれしかった一日。

——さわやかな秋の出来事。



### 内と外

北海道増毛町 寺沢ゆりこ

小学2年の息子は、真剣にスゴ腕の医師が活躍するマンガを読んでいた。普段は、中学生の姉の影響か、少し背伸びをして大人ぶる態度が多いのだが、その日の息子は違った。

「ママ、内科と外科の違いって何なの？」  
 どう説明したら分かり易いか考えていると、「ボクわかるよ」「えっ、どういう違いなの？」と尋ねると、「内科はねえ、病院の中で手術したり、治してあげるの。外科はねえ、お外へ行って治してあげることなの。だって内(ない)って中にいるってことで、外(げ)ってお外ってことだもん！」こ名答に笑いそうでしたが、彼のプライドを考えグツとガマン。学校で教わった「内」と「外」の漢字。これで忘れないなね。

——子どもって楽しいですね。

### 「4世代で稲刈り！」



鹿児島県さつま町 沖田奈々

前進しよう

常に前を向こう。輝かしい春。希望の春がきた。ともかくにもいろいろの問題はあるが常に前に向かって前進しよう！生きるということば苦しみをこえてかなしみをこえて前に向かって進んで行くことだ。

鈴木清一

### 愛の輪からのコラム

8

人にやさしいグローバルな視点って？

### 同じ目線で課題を受けとめ合う 仲間の存在が力となるピア・サポート



アメリカで始まった同じ課題に直面する人同士が対等な立場で心を開いて語り、支え合うピア・サポート。ピアは仲間を意味します。日本でも子育てや介護をする人、震災で家族を失った人、様々な心に広まっています。最近では学生も取り入れ、就職活動の悩みなどを同じ目線で受けとめ合える仲間の存在が前向きに解決する力となっています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270 HP (<http://www.ainowa.jp/>) 愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。



社会やお客様に「喜びのタネをまく」こと、「お役に立つ」ことを願い創業したダスキンは、商品やサービスの提供はもちろん、社会貢献活動として「ダスキン愛の輪基金」を1981年に設立。地域社会でリーダーを目指す障がいのある若者を、海外に研修派遣したりアジア太平洋地域から招くなど、障がいのある人もない人も共に心豊かに暮らせるよう32年間活動を続けています。今では多くの研修生が障がい者福祉など幅広い分野で活躍しています。



海外での研修風景

愛の輪の  
海外研修で出会った  
仲間と障がい者福祉  
に貢献したい!



障がい者リーダーが  
活躍しているわ  
たぐさんの

今号のキーワード

「あいのわ」

ハガキに書いてご応募ください!



抽選で100名様に  
「くらしキレイBOX」を  
プレゼント!



下記の要領でご応募ください。

- トイレ用除菌・洗浄・消臭剤 ローズの香り
- 風呂・化粧室用洗剤 ローズの香り
- カビ取り剤 ●天然ゴム手袋 ●エコソボンジミ
- 「くらしキレイBOX活用Book」

●ハガキに

- ①今号のキーワード ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
  - ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名
  - ⑨この新聞内で好きなコーナー
  - ⑩ダスキンとの印象深い思い出
- をご記入の上、下記であて先までお送りください。

●応募専用のあて先 **※郵便番号とあて先のみで届きます。**  
〒163-0265 **住所は不要です。**

(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.536」プレゼント係

- 締め切り 平成25年11月29日(金)当日消印有効
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成25年12月中旬お届け予定)

●応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。  
※ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

今回ご応募いただいた個人情報は、(株)ダスキンにおいてプレゼントの抽選や賞品の発送に利用させていただきます。ご記入いただいたコメントに関しては、弊社ホームページ「ダスキン50周年記念ページ」上にて掲載させていただきます。掲載内容:コメント、都道府県、性別、年齢(但し、掲載させていただく際に、コメントの文意を変えない範囲で編集をする場合がございます)。個人情報に関するお問い合わせやご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」プレゼント係(TEL:03-5909-6703)までご連絡ください。

あなたの**声**が原点です。  
私たちは、そのお声とともに歩みつづけます。

ダスキンが大切にしたいのは、あなたの声——。  
ぜひ、あなたの想いをお聞かせください。

お客様の声はインターネットにて承っております。

ダスキンお客様の声

[www.duskin.jp/voice](http://www.duskin.jp/voice)

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

**0120-100100** [www.duskin.co.jp](http://www.duskin.co.jp)